

千葉県委託「認知症専門職研修体系構築事業」に基づく 初任者向け研修を開催します

千葉県社会福祉士会では千葉県からの委託を受け、「認知症専門職研修体系構築事業」を行っております。そこで、ソーシャルワーカー初任者向けのモデル研修を行います。このモデル研修は上記事業の認知症専門職研修を体系化するにあたってのモデル研修という位置づけです。

千葉県は、急速に高齢化が進み、それに伴って認知症高齢者の数も大幅に増加、平成32年には約19万人3千人に達すると推計されています。国や千葉県では今後、認知症への対応を行う人材や拠点等の地域資源をネットワーク化し、相互に連携を図りながら有効な支援を行う体系を構築をすることを求めています。

そのような状況を鑑み、ソーシャルワーカーとして認知症の人と家族を支援する力量の向上を図ることを目的に2日間の研修を開催します。

○定員：20名

○対象：地域包括支援センターや病院、介護保険サービス事業者等、高齢者等にかかわる業務に就いている社会福祉士等で、相談援助業務等の経験が3年未満の者

○受講料：無料 ※研修プログラムは別紙参照

○開催日時：平成25年10月6日（日）および10月20日（日）の2日間

○研修会場：ホテルニューツカモト（千葉市中央区千葉港7-1 塚本千葉第5ビル）
地下1階研修室

○申し込み：必要事項を申し込み用紙に記入のうえFAXもしくは必要事項が記載したMailにて
お願いします。

○申し込み〆切：平成25年9月27日（金）

○申込・問合せ先：一般社団法人千葉県社会福祉士会 事務局

電話番号：043-238-2866 FAX番号：043-238-2867 E-mail：office@cschwchiba.com

「認知症専門職体系構築事業」に基づく初任者向け研修 申込書

| 氏名 | | 所属 | |
|-----------------|--|--------------|-----|
| 社会福祉士 登録番号 | | 相談業務 経験年数 | 年 月 |
| 日中連絡の つく電話番号 | | Mail アドレス | |
| 受講動機をお聞かせください | | | |

認知症専門職体系構築事業 初任者対象プログラム

- 1 対象 地域包括支援センターや病院、介護保険サービス事業者等、高齢者等にかかわる業務に就いている社会福祉士等で、相談援助業務等の経験が3年未満の者
- 2 ねらい 相談援助業務等に携わって、経験年数が短いソーシャルワーカー等に対して、認知症に関する理解と、認知症を抱える方とその家族に対する支援の前提となる、コミュニケーションや基本的制度の理解をすすめることをねらいとする。
- 3 到達目標
 - ・ 認知症に関して理解を深める
 - ・ 認知症の症状等に応じた、適切なコミュニケーションをすることができる
 - ・ 認知症ケアに応じたケアマネジメントの基本的な視点、方法を身に付ける
 - ・ 支援に必要な基本的制度を理解する

| 課目 | 形式 | 講師 | 時間 | |
|-------|--------------------|----------|--|-------------|
| 第1日目 | | | | |
| 10/6 | 認知症の医学的特徴 | 講義 | 医療法人実幸会 いらはら診療所 院長 苛原 実 先生 | 10:00~12:00 |
| | 昼食・休憩 | | | |
| | 認知症の行動・心理症状 | 講義 | 袖ヶ浦さつき台病院 認知症疾患医療センター センター長 細井 尚人 先生 | 13:00~14:30 |
| | ケアマネジメントの基本的視点 | 講義 | 千葉県社会福祉士会 会長 神山 裕也 氏 (四街道市社会福祉協議会) | 14:40~15:40 |
| | 基本的制度の理解 | 講義 | | 15:50~16:50 |
| | アンケート実施・回収／意見徴収 | | | 16:50~17:30 |
| 第2日目 | | | | |
| 10/20 | コミュニケーションスキルと家族の支援 | 講義 演習 | 柏市立柏病院 地域医療連携室 MSW 染野 貴寛 氏 | 10:00~12:00 |
| | 昼食・休憩 | | | |
| | アセスメントスケール | 講義 | (現在、調整中) | 13:00~14:00 |
| | 認知症処方薬 | 講義 | (現在、調整中) | 14:10~15:10 |
| | アンケート実施・回収／意見徴収 | | | 15:10~16:40 |

| 【課目】 認知症の医学的特徴 | | | | |
|--|---|---|----|------|
| 【ねらい】 認知症に対する医学的な特徴を知ることにより、様々な認知症に対する基礎的知識を理解する。特に中核症状について理解をすることによりアセスメントがしっかりできるようになる。 | | | | |
| 内容 | 具体的習得目標 | 解説 | 形式 | 時間配分 |
| 認知症に関する医学的知識の理解 | アルツハイマー型認知症のメカニズム、その他の認知症を起こす疾患について説明することができる | アルツハイマー病、脳血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭葉変性症それぞれの特徴を理解する | 講義 | 2 H |
| | 認知症の中核症状について説明することができる | 記憶障害、見当識障害、失語・失行・失認、実行機能の障害などを取り上げ、それぞれの違いや特徴を理解する | | |
| 【課目】 認知症の行動・心理症状 | | | | |
| 【ねらい】 BPSDは認知症の方を支えるためには理解しておくことが重要である。特になぜそのような心理・行動症状が見られるのかを理解することによって、認知症の方の対応や支援方法をよりスムーズに行うことができる。 | | | | |
| 内容 | 具体的習得目標 | 解説 | 形式 | 時間配分 |
| 認知症の行動・心理症状の理解 | BPSDの心理症状について説明することができる | 幻覚、妄想、誤認、抑うつ気分、不眠、不安などの症状について理解する | 講義 | 1.5H |
| | BPSDの行動症状について説明することができる | 徘徊、暴言・暴力などの症状について理解する | 講義 | |
| 【課目】 アセスメントスケール | | | | |
| 【ねらい】 実際の評価尺度の内容がどのようなものなのか、違いは何か、を把握する。そのことによってアセスメントをする際の参考になったりコミュニケーションの基本となる場合もある。 | | | | |
| 内容 | 具体的習得目標 | 解説 | 形式 | 時間配分 |
| HDS-R、MMSE、国立精研式、NMスケール等 | 認知症の検査等に使われている各種評価尺度の内容を説明することができる | 質問式、観察式アセスメントスケールのそれぞれの特徴を理解する HDS-R、MMSE、CDT、NMスケールなど | 講義 | 1 H |
| 【課目】 認知症治療薬 | | | | |
| 【ねらい】 使用されている認知症治療薬の効果や副作用などを理解する。 | | | | |
| 内容 | 具体的習得目標 | 解説 | 形式 | 時間配分 |
| 認知症の薬物療法 | 認知症治療に使われる薬剤について説明することができる | 認知症治療薬の種類と効果、使用方法の違いを理解する | 講義 | 1 H |

パーソンセンタードケアの実現

| 【課目】 コミュニケーションスキルと家族の支援 | | | | |
|---|--|--|----|------|
| 【ねらい】 認知症の方と関わる際の留意点などを理解する。認知症の種類や症状によって関わり方なども変わることから、本人に合ったコミュニケーションを考える。また寄り添い、傾聴することが大事であるので態度等にも意識する。ロールプレイでは認知症の方を演じてもらったり、家族の方を演じることによって改めて自らのコミュニケーションスキルについて自覚し改善してもらう。 | | | | |
| 内容 | 具体的習得目標 | 解説 | 形式 | 時間配分 |
| 傾聴・面接技法、コミュニケーション技術 | BPSDを踏まえて、本人に寄り添い安心するコミュニケーションとは何かを理解する | <ul style="list-style-type: none"> ・本人の言葉を受け止め、思いに共感しながら、安心する働きかけで対応していくこと。 ・本人の様子を観察しながら、外的環境や周囲の関わり方を改善することにより症状が緩和することを理解する | 講義 | 1H |
| ロールプレイを実施する | 認知症ケアの基本である「パーソンセンタードケア」を踏まえたコミュニケーションをとることができる | <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションスキルの習得を目指す ・認知症の方のコミュニケーションを支援する意識を持つ ・ロールプレイを実施するのでペア決め、グループ配置などを工夫する | 演習 | 1H |
| 【課目】 ケアマネジメントの基本的視点 | | | | |
| 【ねらい】 ケアマネジメントのプロセスを意識してもらい、特にアセスメントの重要性を理解する。プランニングの際には5つの視点が重要であることを意識してもらう。 | | | | |
| 内容 | 具体的習得目標 | 解説 | 形式 | 時間配分 |
| プロセス（アセスメント、プランニング、評価） | 本人の心身の状況と、家族の状態等の情報から、課題を明確化、支援方針を立案するための視点を理解する | 「その人らしさ」「安心・快」「力の発揮」「安全・健康」「暮らしの継続性」の視点を意識してもらう | 講義 | 1H |

支援に必要な制度の理解

| 【課目】 基本的制度の理解 | | | | |
|--|-------------------------------|---------------------------------------|----|------|
| 【ねらい】 認知症の方及び家族の方を支援する各種制度の概要を理解する。特に日常生活自立支援事業や成年後見制度は権利擁護の視点からも重要な制度であるので、具体的な利用手続き等を把握する。 | | | | |
| 内容 | 具体的習得目標 | 解説 | 形式 | 時間配分 |
| 日常生活自立支援事業、成年後見制度の理解 | 支援に必要な権利擁護のための制度を説明することができる | 日常生活自立支援事業、成年後見制度の概要を理解する | 講義 | 1H |
| 介護保険制度、老人福祉制度、障害者総合支援法の理解 | 認知症ケアに必要な介護保険サービス等を説明することができる | 介護保険サービス（在宅・施設）や地域密着型サービスそれぞれの特徴を理解する | | |